

2012年12月25日

日本医師会会長 横倉 義武 先生

「戦争と医の倫理」の検証を進める会

代表世話人 赤羽根巖  
代表世話人 石川 徹  
代表世話人 西山勝夫  
事務局長 住江憲勇

### 貴会の支えにより開催される第29回日本医学会総会に関する懇談のお願い

謹啓 横倉義武会長には、医療を取り巻く厳しい情勢のもとで、「国民の幸福の原点は健康にあり、それを支える医療提供体制の構築」を最重要課題として、国民皆保険医療の充実、発展のため日夜ご尽力なされていますことに敬意を表します。

さて、iPS細胞に象徴されるように、現在の医学・医療の歩みは著しく、ますます医学者・医師に高い倫理観が求められています。これに応えるためには、私たちが医学・医療のこれまでの歩みを真摯に振り返ることが重要な課題の一つです。なかでも、日本の医学医療が進歩・近代化し始めた昭和の初期、「15年戦争期」及びそれに続く「戦後期」の医の倫理にかかわる反省、教訓を生かすことは欠かせません。

この目的のもとに、2007年大阪で開催の日本医学会総会に向けて、大阪の医師・医学者を中心に「第27回日本医学会総会出展『戦争と医学』展実行委員会」が結成され、また、15年戦争と日本の医療研究会関係者が当時の日本医師会植松治雄会長とも懇談し、731部隊問題等の歴史的検証の必要性では意見が一致しましたが、期日が迫っていたこともあり、医学会総会の企画として実現するまでには至りませんでした。

当会は、この「第27回日本医学会総会出展『戦争と医学』展実行委員会」の活動を継承する組織として、2009年9月27日、東京大学において設立しました。

第28回日本医学会総会にも、同様の企画の要請をしましたが実現には至らず、東日本大震災と福島原発事故発生のため、当会も独自のパネル展示と、国際シンポジウムの企画は中止せざるをえませんでした。

今年9月～11月には、「戦争と医の倫理」に関するパネル展示を、明治大学、保団連医療研究集会、立命館大学、京都大学で開催し、11月17日にはドイツの代表を招いての国際シンポジウムを京都大学で開催しました。参加者からは、「このような史実の検証は大事であり、今後の医学・医療にも生かして欲しい」と、医学・医療関係者への期待を込めた声が多数寄せられました。

また、10月19日には、高久史磨日本医学会会長と面談し、企画の検討を依頼しました。11月19日には、次期日本医学会総会の井村裕夫会頭にも要請し、「まだ企画は白紙であり、関係委員会でも検討したい」旨の意向も示されました。

さらに、日本医師会については、2007年1月19日に、植松治雄会長が15年戦争と日本の医療研究会代表らとの懇談において「1. 要請はきちんと検討する。2. 戦争中のことに就い

ては史実に基づく検討が必要と考える。3. 過去のことはこれからは活かす という点で重要である。4. ただ、政治的に捉えられかねない面があるので、配慮して取り組まなければならない。」という見解を示されました（15 年戦争と日本の医療研究会研究会会誌 11(1), 2010 年 10 月）。

「過去に目を閉ざすものは、現在さえも見えなくなります」という歴史の教訓に学び、私たちがかつての戦争と医学・医療の関係、特に戦争中における医学者・医師の残虐行為等の史実を明らかにし、史実を基に議論を開始することは、医の倫理の確立や明日の医学界のために不可欠ではないでしょうか。

日本医師会は、「国民と共に歩む専門家集団としての医師会」を目指されています。また、日本医師会に置かれた日本医学会とは緊密な連携のもとに、「医学に関する科学及び技術の研究促進を図り、医学及び医療の水準の向上に寄与する」とされています。これからの医学・医療を発展させるためにも、「医の倫理」に関する日本医師会の社会的役割は大きいと思います。

つきましては、第 29 回日本医学会総会に関連し、横倉義武会長と懇談の機会をいただければ幸甚に存じます。ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、横倉義武会長のご都合などを同封の返信用封筒（あるいは、下記のメールアドレス宛）でお知らせいただければ幸いです。

よろしくお願い申し上げます。

謹白

#### <同封資料>

##### パネル集「戦争と医の倫理」

<添付>

- (1) ドイツ精神医学精神療法神経学会 2010 年総会における謝罪表明（「精神神経学雑誌」第 113 巻第 8 号別冊）
- (2) 設立趣意書
- (3) 世話人会名簿
- (4) 2012 年京都「戦争と医の倫理」の検証を進める宣言
- (5) ブックレット 「戦争と医の倫理」—中・米・日の視点から

以上

#### 「戦争と医の倫理」の検証を進める会

(連絡先) 〒151-0053

東京都渋谷区代々木 2 - 5 - 5 (新宿農協会館 5 階)

全国保険医団体連合会 内

TEL. 03-3375-5121

FAX. 03-3375-1862

e-mail [tadashi-mri@doc-net.or.jp](mailto:tadashi-mri@doc-net.or.jp)

URL <http://AVIC.doc-net.or.jp>